

第10回生物多様性条約締約国会議開催準備経費

42百万円(5百万円)

自然環境局自然環境計画課生物多様性地球戦略企画室

1. 事業の概要

本年5月に神戸で開催されたG8環境大臣会合では、生物多様性が気候変動、3Rと並んで議題となり、「神戸・生物多様性のための行動の呼びかけ」にG8各国が合意した。同じく7月に開催されたG8洞爺湖サミットにおいても、首脳宣言に生物多様性の重要性が盛り込まれるなど、生物多様性に対する国際的な関心が高まっている。

また、わが国は、国内外の生物多様性の保全に向けた取組を推進するため、閣議了解に基づき、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催地として立候補していたが、本年5月にドイツ・ボンで開催されたCOP9において、COP10の2010年愛知県名古屋市開催が決定され、その準備を開始する必要性が生じた。

これらを受け、議長国としてCOP10を成功裏に開催するため以下の事業を実施する。

(1) COP10会議開催計画の作成

COP9開催国のドイツからの会議開催情報の収集や生物多様性条約事務局との調整を行い、具体的な会議開催計画を作成する。

(2) 2010年目標、COP10に対する意識の向上

COP10プレ会合(アジア地域のユース会議)や国際生物多様性年準備セミナーの開催や、生物多様性アワードなどを通じて2010年目標やCOP10に対する意識の向上を図る。

(3) 会議設営準備、COP10会議開催

2. 事業計画(平成21年度～平成22年度)

(1) COP10会議開催計画の作成 (平成21年度～平成22年度)

(2) 2010年目標、COP10に対する意識の向上 (平成21年度～平成22年度)

(3) 会議設営準備、COP10会議開催 (平成22年度)

3. 施策の効果

生物多様性条約第10回締約国会議の具体的な会議開催計画を作成することで、円滑に効果的に会議が運営される。

日本国内やアジア地域においてCOP10への気運が高まるとともに、生物多様性や2010年目標についての理解が深まる。

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催準備経費

COP10開催準備

会議開催計画作成

- ・COP9開催国からの情報収集
- ・条約事務局担当者の招へい
- ・条約事務局との調整
- ・会議開催計画の検討・作成

COP10に対する意識の向上

COP10開催周知

- ・ロゴマーク、ポスターの募集、普及
- ・周知パンフ、子供向け小冊子作成、普及など

COP10プレ会合 (アジアユース会議)

アジア地域の若者によるCBDの議題に関連するテーマについて会議を開催

2010年目標、国際生物多様性年に関する普及啓発

国際生物多様性年準備戦略(決議 /33)

委員会の設立運営

多様な主体からなる国際生物多様性年組織委員会を設立・運営

国際生物多様性年準備業務

- 準備セミナーの開催
- 小冊子等翻訳
- 国際生物多様性年web

生物多様性の経済活動への内部化促進

- 生物多様性アワード
(生物多様性に配慮した企業等の活動を表彰)
- 認証制度
(生物多様性に配慮した商品の認証)

COP10の開催準備の着実な進展
生物多様性、2010年目標、COP10に対する
国民全体の意識向上

COP10の成功

